

CIMB グループホールディングス (CIMB)

マレーシア金融環境は純金利収益に追い風。「マレーシア版Suica」拡大、フィリピン市場のデジタル戦略が有効

マレーシア | 銀行 | 業績フォロー

BLOOMBERG CIMB:MK | REUTERS CIMB.KL

- 2024/12期3Q (7-9月) は、営業収益が前年同期比8.2%増、純利益が9.9%増。貸出残高拡大と非金利収益増加に加え、経費率も改善。
- マレーシア経済は CPI 上昇率や経済成長率見通しより利下げの環境にはなく、同行の純金利マージンおよび貸出拡大に追い風だろう。
- 「マレーシア版Suica」の交通系ICカード「Touch'n Go」は堅調な伸び。フィリピン市場はデジタル金融に特化する戦略で拡大中。

What is the news?

11/28発表の2024/12期3Q (7-9月) は、営業収益が前年同期比8.2%増の57.42億MYR、経費率が同0.4ポイント低下の46.5%へ改善、貸倒等損失引当金繰入額が同15.8%減の2.50億MYR、純利益が同9.9%増の20.31億MYRとなった。純金利マージン (NIM) が縮小したものの貸出が増加。非金利収益も堅調に伸びた。前四半期比は、営業収益が2.5%増、純利益が3.6%増、9月末のGIL (グロス不良債権比率) が0.2ポイント低下の2.3%へ改善した。

3Qの営業収益の内訳は以下の通り。①純金利収益は前年同期比4.6%増の39.30億MYR。純金利マージン (NIM) が同0.02ポイント低下の2.23%と悪化したものの、9月末貸出金残高 (為替変動の影響を除く) が同4.3%増加したことが増収に寄与した。②非金利収益は同16.8%増の18.12億MYR。主力の手数料収入が同11.3%増の6.98億MYR、トレーディング&外国為替換算差益が同22.4%増の10.20億MYRと伸びた。

How do we view this?

通期会社計画は、総貸出残高前期比伸び率を4-5% (従来計画:5-7%) へ下方修正の一方、経費率は46.9%以下 (1-9月実績:45.9%)、貸倒損失チャージは25-30ベースポイント (bps) (1-9月実績:25bps) と従来計画を据え置いた。マレーシア中央銀行は11/6、金融政策委員会で政策金利を3%よと、2023年7月から9会合連続で据え置きを決定。10月の消費者物価指数 (CPI) が前年同月比1.9%上昇と前月の1.8%上昇を上回ったほか、政府が今年の経済成長率予測を4~5%から4.8~5.3%に上方修正するなど、当面は政策金利を引き下げる環境に当てはまらず、純金利マージンの維持および貸出増が見込まれる。

同社傘下でマレーシア国内首位の電子ウォレット企業の「Touch'n Go Digital」のカード「Touch'n Go」は、日本のJR東日本が発行するSuicaのように、交通機関の運賃の支払いにとどまらず様々な料金の支払いなどに幅広く利用されている。9月末時点で、登録者数は前年同期比32%増の28.4百万人、1年以内に取り出した稼働ユーザー数が同58%増の17.4百万人に伸びた。また、同社はデジタル事業を通じてフィリピンに進出。9月末のフィリピンの顧客数が同12%増の8.3百万人と成長拡大中だ。フィリピンのような新興市場に対しては銀行口座やクレジットカードを必要としないデジタル金融技術に特化することが有効と考えられる。

業績推移

※参考レート 1MYR=34.594円

事業年度	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12F	2025/12F
売上高 (百万MYR)	24,734	26,854	35,041	22,348	23,610
当期利益 (百万MYR)	4,295	5,440	6,981	7,768	8,295
EPS (MYR)	0.43	0.52	0.65	0.73	0.78
PER (倍)	10.84	10.01	8.54	11.07	10.36
BPS (MYR)	5.50	5.97	6.41	6.75	7.12
PBR (倍)	0.85	0.87	0.87	1.20	1.13
配当 (MYR)	0.23	0.26	0.43	0.46	0.44
配当利回り (%)	4.93	4.99	7.75	5.69	5.45

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (MYR)	0.46	(予想はBloomberg)
終値 (MYR)	8.08	2024/12/16

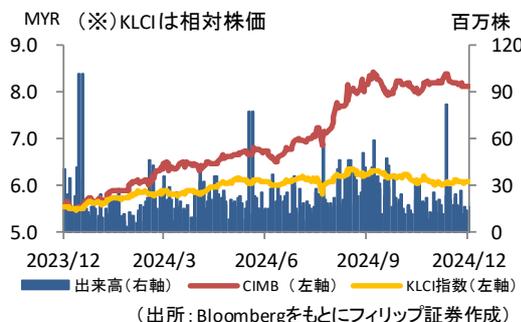
会社概要

1924年創業。CIMBとは、Commercial International Merchant Bankers (商業国際貿易商銀行) の略である。マレーシアではメイバンクに次ぐ規模の金融グループである。世界のイスラム金融ではトップクラスのユニバーサルバンクであり、投資銀行部門はアジア太平洋を拠点とする中でも最大の投資銀行の一つである。

主な業務として、①消費者向け銀行業務、②商業銀行業務、③ホールセール銀行業務、④デジタル資産およびグループ・ファンド業務、⑤イスラム金融業務を営む。マレーシアのクアラ Lumpur に本社を置く同グループは、アセアン10カ国すべてで業務を展開。アセアンで最も広範な支店網を有し、2024年9月末現在、従業員数は約33,000人、支店数は592店に上る。アセアンのほか、中国本土、香港、英国にも拠点を置く。

企業データ (2024/12/16)

ベータ値	1.22
時価総額 (百万MYR)	86,675
企業価値=EV (百万MYR)	-
3ヵ月平均売買代金 (百万MYR)	188.1



主要株主 (2024/12)

株主	(%)
1. ガナナショナル	21.55
2. EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD	16.13
3. AMANAH SAHAM NASIONAL BHD	9.88

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。